

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
1 先進自治体の事例	3
2 熊本県山江村の概要	5
3 山江村の農業の現状	6
4 有害鳥獣の生態と全国での被害状況	6
5 山江村の鳥獣対策の現状及び被害状況	7
6 山江村での有害鳥獣被害の拡散を防ぐための施策	8
施策1 新しい有害鳥獣の被害防止策	8
1 廃棄防護ネットの再利用	8
2 モンキー犬（サルを追い払うように訓練された犬）の導入	9
3 GPS 機能を活用したサルの追い払い	10
4 くくりわなの活用	11
施策2 有害鳥獣の地域資源化	11
1 シカ牧場の開設	12
2 ジビエ料理（注）の提供	13
3 その他の部位の商品化	13
まとめ	14

【提言の要旨】

有害鳥獣を地域資源として活用する方策

現
状

- シカ、イノシシ、サルなどの野生鳥獣の全国的な生息数の増加
- 野生鳥獣の増加に伴う農林水産業の被害拡大
- 被害に伴う農業経営者の意欲減退
- 意欲減退から耕作放棄地が拡大し、農林業全体が悪循環に陥っている
- 日本の農林業を守るために対策が必要だが、抜本的な対策が見つかっていない
- 従来の対策（狩猟・捕獲檻・電気柵）でも大きな費用負担が生じている
- 有害鳥獣→有用鳥獣への転換模索の必要性

目
標

日本の農林業発展の阻害要因となっている有害鳥獣対策に着目し、有害鳥獣を有害な物ではなく地域の資源として捉え、有効かつ現実的で、達成可能な活用方法を示す。

課
題

- ① 全国的な事例の調査、分析
- ② 有害鳥獣類別の有効な活用方策
- ③ 販売を目的とした商品の開発方法
- ④ 特産品としての定着化
- ⑤ 関係法令等の調査（法的規制の有無など）

施
策
提
言

- 施策 1
新しい有害鳥獣の被害防止策
- 施策 2
有害鳥獣の地域資源化

効
果

- ① 地域の特産品としてのブランド化
- ② 地産地消の推進
- ③ 有害鳥獣の減少に伴う農林業の復活